

2018年3月1日 木曜日

## 基調講演



総務省情報流通行政局サーバーセキュリティ担当参事官 柳島 智氏により「IoTセキュリティ総合対策について」というテーマで基調講演が行われた。サイバー空間と現実世界がIoTを通して繋がり、セキュリティ脅威がより身近な問題になっている。政府では内閣サイバーセキュリティセンター（NISC）により脅威の原因究明調査が行われている。

IoT危機は幾何級数的に増加している。ダークネットを使ってNICTでは不正アクセスを観測しているが、2015年から2017年の伸びは2.8倍に伸びており、2017年にはWebカメラやルータなどIoT機器を狙った攻撃が半数以上を占めていた。IoTセキュリティ対策としては、研究開発など個々の対策も含め、ライフサイクル全体を見直した対策が必要である。

## 講演（1）

横浜国立大学准教授 吉岡 克成氏により「IoTにおけるサイバーセキュリティの現状とその対策」というテーマで講演が行われた。

大学ではIoT機器の攻撃観測を受動的観測と能動的観測で行っている。ダークネットやハニーポットで観測すると、約60万台の500種類以上の機器が2016年1月～6月の期間でマルウェアに感染していることが分かった。原因はTelnetプロトコルで弱いID/PWが利用されていることだった。2016年のMiraiの大流行のあと、攻撃の多様化が行われTelnet以外の脆弱性が狙われている。

また、IoT機器が踏み台とされサービス妨害攻撃が行われることや、収益化や破壊攻撃に利用され

ることもある。HTTP への能動観測では水道システムなどにアクセスできることも発見できた。管



理画面がデフォルトのまま使われている事例は少なくない。IoT 機器の現状を正確に把握し実効的な対策を行うための体制づくりが必要である。

## イベント セキュリティハンズオンセミナー

2018年2月11日(日)に、富士通のセキュリティマイスター佳山こうせつ氏による司会で Sec 道後イベントセキュリティハンズオンセミナーが開催された。ハンズオンでは、午前中に、メールから感染するランサムウェア (JIGSAW) と標的型攻撃の体験が行われ、午後には、Web ブラウザの動きの確認や XSS の体験、ネットワークの基礎や通信可能なラジコンへのポートスキャン体験が行われた。最後にグループ対抗の CTF (ハッカーコンテスト) が開催された。



ランサムウェア体験



CTF 体験